

## 神聖な啓示の最高峰に到達する

聖書： I テモテ 1:4. エペソ 1:10. 3:9. ローマ 1:3-4

I. 神がわたしたちに与えた神聖な啓示の最高峰は、神の永遠のエコノミーの啓示です。それは、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということです：

A. 神の永遠のエコノミーの説明である全聖書は、永遠の二つの区分と時間の架け橋において見られる、三一の神の自叙伝です：

1. 三一の神は永遠から時間の中へと入って来て、彼の神性を伴って人性の中へと入り、肉体と成った神となりました。それは人における神の直接の行動のためであり、四福音書において見られ、神の法理的な贖いを完成するためにした——ヨハネ 1:14, 29。
2. 彼は復活において複合の神、「手順を経た」神、すなわちすべてを含む、命を与える霊と成りました。それは使徒行伝と書簡において見られ、彼の有機的な救いを完成するためにした——ヨハネ 1:32, 42. I コリント 15:45 後半. ピリピ 1:19。
3. 未来の永遠において、彼は団体の神、新エルサレムとなります。それは啓示録第 21 章と第 22 章において見られます。
4. 手順を経て究極的に完成された三一の神と、再生され、造り変えられ、栄光化された信者たちとの、宇宙的な、神性と人性の合併は、神の永遠のエコノミーの目標です——ヨハネ 1:51. 啓 21:3, 22。
5. 神の中心的な啓示と主の回復とは、神が肉体と成り、肉体が命を与える霊と成り、命を与える霊が七倍に強化された霊と成って、召会を建造し、それがキリストのからだとなり、新エルサレムを究極的に完成するということです。

B. 神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためです。これは、全聖書の本質、すなわち聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」であり、神の永遠のエコノミーです——創 1:26. ヨハネ 12:24. ローマ 8:29:

1. 神は肉体と成ることを通して人と成り、人の人性にあずかりました。人は造り変えを通して神となり、神の神性にあずかります：
  - a. 神の命にあずかる——ヨハネ 3:15. コロサイ 3:4。
  - b. 神の性質にあずかる——エペソ 1:4. II ペテロ 1:4。
  - c. 神の思いにあずかる——エペソ 4:23. ピリピ 2:5。
  - d. 神の存在にあずかる——II コリント 3:18 後半. エペソ 3:8。
  - e. 神のかたちにあずかる——II コリント 3:18 前半. ローマ 8:29。
  - f. 神の栄光にあずかる——30 節. ヘブル 2:10。

g. 神の子たる身分にあずかる——エペソ 1:5. ローマ 8:23。

h. 神の出現にあずかる——19 節。

i. 神の様を持つ（神のようになる）—— I ヨハネ 3:2。

j. 神類、神の種類となる——ヨハネ 1:12. ローマ 8:14, 16。

2. この神と人のロマンスは全聖書の主題、神のエコノミーの内容、全宇宙の秘密です——雅 1:1. 6:13。

**II. 神聖な啓示の高嶺、すなわち聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」は、一つの啓示、すなわち、神がキリストの中で人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということです——サムエル下 7:12-14 前半. ローマ 1:3-4. エペソ 3:17 前半 :**

A. 「神が人と成り、人が神となる」ということが神のエコノミーです—— I テモテ 1:4。

B. 神の永遠のエコノミーとは、人を神格においてではなく命と性質において神であるのと同じにし、ご自身を人と一にし、人を神と一にして、彼の表現において拡大し拡張し、彼の神聖な属性のすべてが、人性の美德において表現されるようにするという事です——エペソ 3:9. 1:10 :

1. 神の大きな喜びとは、人と一になり、人を神格においてではなく命と性質において神であるのと同じにすることです——5, 9 節。

2. 神が人と成ったのは、ご自身の大量の複製を持ち、それによって新しい種類、神・人の種類を生み出すためでした——ヨハネ 1:1, 14. 12:24。

C. 神のエコノミーの成就のために、わたしたちが必要とするのは、神がご自身をキリストの中でわたしたちの命、性質、構成としてわたしたちの中へと建造して、わたしたちを神格においてではなく命と性質において神とすることです——エペソ 3:17 前半. コロサイ 3:4, 10-11。

D. 神が人と成ったのは肉体と成ることを通してでした。人が神となるのは、再生、聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化を通してです——ヨハネ 3:5-6. 1:12-13. ローマ 6:19, 22. 12:2. 8:29-30。

**III. 神が人と成り、人を神とすることによってのみ、キリストのからだは生み出されることが出来ます。この点が、神がわたしたちに与えたビジョンの高嶺です——ローマ 8:3. 1:3-4. 8:14. 12:4-5 :**

A. 神が人と成って人を神としたのは、キリストのからだを生み出すためでした。このからだは三一の神の有機体であり、その究極の現れは新エルサレムです——エペソ 1:22-23. 4:4-6. 啓 21:2, 9-10。

B. 聖書は、人がどのようにして神となって神・人の生活をし、それによって神の有機体となることを見せせています——ローマ 1:3-4. 12:4-5 :

1. この有機体は、神がご自身を人と結合しミングリングして、人を神とするもの

です。

2. 神が人と成り人が神となった結果は一つの有機体です。この有機体はキリストのからだ、すなわち神と人の結合とミングリングです——エペソ 4:4-6, 12。
- C. 神は彼の御子を遣わし、御子は人と成り、神聖な命によって神・人の生活をしました。そのような生活の結果は、神であるのと全く同じである宇宙的な人、すなわち神聖な命によって神・人の生活をする団体の人です——ローマ 8:3. 12:4-5。
- D. キリストのからだの実際は、神と人の結合とミングリングであり、団体の神・人を生かし出すことです——エペソ 4:4-6, 24。